

(国際会議開催)

申請者	岐阜大学 工学部電気電子・情報工学科 助教 山田 繁	2245009
国際会議名	35 th International Photovoltaic Science and Engineering Conference	
会議ホームページ URL	https://www.pvsec-35.com/	
開催期間	2024 年 11 月 10 日～2024 年 11 月 15 日 (6 日間)	
会場名称	プラザヴェルデ	
会場住所	静岡県沼津市	
開催形式	対面開催	
申請者の役割	PVSEC-35 運営委員会 幹事	

2024 年 11 月 10 日から 11 月 15 日に静岡県沼津市で第 35 回太陽光発電国際会議が開催されました。本会議は、太陽光発電に関する諸問題、すなわち光起電力効果の基礎、太陽電池材料、各種太陽電池やそれらの製造プロセス、太陽光発電モジュールおよび周辺機器、太陽光発電システム、さらには太陽光発電の普及や施策などを発表、討議することを通じて、当該分野の基礎から応用にわたる学術の発展と豊かな社会の実現に貢献することを目的としております。また、産業界・学界・公的機関を問わず、太陽光発電研究の開発者や専門家が幅広く集結することにより、当該分野の科学技術・学術的進歩と当該分野へ貢献する若手人材養成を目的としております。本会議の開催により、以下の成果が得られました。

会議全般

スポンサー 47 名を除いた参加者の合計は 874 名、このうち海外からの参加が 32ヶ国 (日本を含まず) 395 名となり、海外参加者比率は 45% と国際会議に相応しい規模での開催となりました。参加者のうち約半数は海外からの参加者であり、太陽光発電が世界規模で重要な研究開発課題となっていることが伺えました。学生の参加者は 317 名と参加者比率の 36% となり、2 年前の名古屋での PVSEC とほぼ同割合 (名古屋は 40%) であり、若手研究者育成という観点からも有益な成果を挙げることができました。今回の PVSEC-35 は、国際会議という学術的観点ばかりでなく大都市を避け沼津市にて開催することにより、地方創生の一つとして我が国が推進している MICE (Meeting, Incentive Travel, Convention, Exhibition/Event) に貢献することができました。

基調講演

鈴木康友静岡県知事のパレオメッセージ、頼重秀一沼津市長のご挨拶の後、日暮資源エネルギー庁新エネルギー課長をはじめとして 6 名の講演者からの基調講演が行われました。日暮課長からは、日本の次世代太陽電池の研究開発に関する元気の出るご講演を頂きました。また、今回は一般市民の方に太陽光発電に関心を持っていただくため、市長のご挨拶の同時通訳を加藤学園暁秀高等学校の学生さんをお願いするとともに、クロージングでも同時通訳を一部お願いしました。

一般発表セッション

オーラルセッションは 5 会場で平行にて実施し、コロナ禍が終息して全て対面での講演となったため活発な質疑応答が行われました。テクニカルセッションでの基調講演は 11 件、招待講演は 40 件であり、総講演数は 757 件でした。757 件の講演の内、Area 1 (政策、マーケット、系統連系等) の発表件数は 97 件、Area 2 (システム、屋外評価等) の発表件数は 107 件、Area 3 (Si 系太陽電池) が 121

件、Area 4 (有機・無機、化合物、III-V 太陽電池) が 129 件、Area 5 (ペロブスカイト系太陽電池) が 222 件でした。今回は、融合領域・新規領域の講演としてペロブスカイト・タンデム太陽電池のセッション CC-1 にて 35 件、AI・機械学習を用いた研究開発の CC-2 にて 16 件、太陽光のエネルギー変換に関する CC-3 にて 30 件の発表がありました。

イベント

11 月 10 日 (日) は、太陽電池の基礎から応用・展望まで含めた 6 名の講師によるチュートリアルを行い、62 名の参加がありました。また、同日には太陽光発電に対する理解促進を目指して科学教室を開催、小学校 4～6 年生にソーラーカーの作製を体験してもらい、子供 20 名、保護者 17 名、計 37 名の参加がありました。また、前回名古屋での Networking lunch for women PV において DE&I 促進のため、託児所の設置が要望されました。そこで初めての試みとして会期中に託児所を設けたところ、1 歳～9 歳児までの延べ 17 名の利用者がありました。バンケットは、沼津リバーサイトホテルにて着席形式で行いました。ここでも若い方々に国際会議の雰囲気を体験して頂くため、琴の演奏を静岡県立沼津西高等学校、書道のパフォーマンスを静岡県立沼津商業高等学校にお願いしたところ、海外からの参加者に大変ご好評を頂くとともに、ネットワーキングの構築に大いに貢献することができました。エクスカージョンとして三島スカイウォークと世界遺産の葦山反射路を巡るコース、伊豆パノラマパークと沼津港を巡るコースの 2 コースを、また日本大学国際関係学部の学生さんが企画した三島まち歩きツアーを水曜日の午後に企画しました。PVSEC-35 フォトコンテストを静岡県東部地域コンベンションビューロー協力のもと開催し、クロージングにおいて PVSEC-35 賞、沼津市長賞、沼津観光協会賞を授与しました。



Opening Ceremony の会場の様子